

令和4年度事業計画

I 基本方針

人口減少、少子高齢化が進行する我が国の高齢化率は28.6%となっており、令和12年には31.2%になると見込まれています。一方、本市にあっては、本年中にも43.2%に達すると予想されています。このことは、人口の東京圏一極集中が是正されず、地方の人口減少はより一層進行するなど、地方の活性化は極めて切実な問題となっています。

また、一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の影響下にあつて、本県にも出されていた「まん延防止等重点措置」も延長を経て3月6日に解除となったところです。

この間の厳しい状況は徐々に緩和されてきてはいますが、依然としてシルバー人材センター事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

定年制の廃止や定年年齢の引上げ、再雇用等による高齢者の安定雇用の確保が推進され、シルバー会員確保においても厳しい状況に変わりはありません。

当センターにとっても「会員拡大」は最重要課題であります。長年にわたり「会員一人一会員確保」の入会奨励を掲げて推進してきておりますが、結果として期待どおりの増員を果たすには至っておりません。

そこで、新たな取組みとして、入会者の紹介会員への褒賞を制度化し、会員拡大に向けた転換期となるような活動が図られるよう促進してまいります。

また、シルバー事業の広報・啓発の他、会員拡大の周知を強化するため、市役所の広報配布に併せてセンターの広報誌である「シルバーあくね」や「会員募集チラシ」を適宜に全戸配布できる体制整備に取り組んでまいります。

今後とも、引き続き市役所との連携を密にしながらアフターコロナを見据え、創意と工夫を凝らした事業展開に努めてまいります。

次に、令和5年10月からインボイス制度（消費税における適格請求書等保存方式）が導入される予定です。制度が予定どおり施行された場合はセンターの経営に極めて大きな影響を及ぼすため、シルバー業界全体として特例措置を求める要望活動を行っています。一方、仮に予定どおり施行されることとなった場合、大きな混乱が生じることが予想されるため、入念なシミュレーションによる現実的な対応策を検討し、万が一の場合に備えて対応できるようにしておくことが求められているところです。

諸々の課題等を抱え、3年目を迎えることになるコロナ対応を前提としたセンター運営と事業展開が望まれるところです。安全を最優先した就業と車両等運行についても細心の注意を払うと共に、コロナ対策にも万全を尽くさなければなりません。

また、当センターの事業運営は、事業収益はもとより、国及び市からの補助金が主要な財源となっております。各施策の推進にあたっては、安定した経営基盤を確立

する必要があり、常にコスト意識を持ち、効率的で効果的な事務事業の運営に努めてまいります。

今後とも、関係機関のご支援、ご協力を頂きながらセンターの発展と地域に根差した魅力あるセンターづくりのために、会員・役職員一丸となって取り組んでまいります。

以下、事業計画は次のとおりです。

II 重点項目

- 1 組織体制の強化及び基本理念の周知徹底
- 2 就業機会拡大事業の推進
- 3 普及啓発及び会員加入促進
- 4 安全適正就業事業の推進
- 5 労働者派遣事業の推進
- 6 美しく風格のあるまちづくり事業の推進

III 実施計画

- 1 組織体制の強化及び基本理念の周知徹底
 - (1) 会員が働きやすい就業環境を構築するために「自主・自立」「共働・共助」の基本理念の周知徹底に努める。
 - (2) 理事主体の事業運営を目指し、各委員会活動の積極的な活動を推進する。
 - (3) 地域班、職群等のリーダーを育成し自主的な運営に努める。
- 2 就業機会拡大事業の推進
 - (1) 会員、特に未就業会員にアンケートにより希望職種の見直しを実施し、就業相談会を行い、公平公正な就業機会の提供に心がけ、退会希望者には慰留に努め、会員減少に歯止めをかけていきたい。
 - (2) コロナウイルス感染症により全ての各種講習会の実施は厳しいが、屋外の講習を実施して会員のスキルアップを図り就業開拓に努める。
 - (3) 「誠実・丁寧」な就業を心掛け就業ニーズに応え、地域社会の信頼と就業機会の拡大を目指す。
- 3 普及啓発及び会員加入促進
 - (1) 「会員一人一会員確保運動の推進」として、入会者の紹介会員等に褒賞を行い、会員拡大の足掛かりとして継続的な加入促進に努める。
 - (2) 月2回の入会説明会を定期的で開催していたが、対象者の意向に沿い随

時対応の説明会も開催し新入会員の獲得に努める。

- (3) パンフレットの新聞折り込みの他、広報誌「シルバーあくね」の全戸配布や会員募集告知が掲載された市広報誌などを多重的に活用して普及啓発に努める。
- (4) コロナ感染症の状況次第では、普及啓発促進月間を中心としたボランティアの実施や役職員・会員による大型商業施設等での PR 活動で普及啓発に努める。

4 安全適正就業事業の推進

- (1) コロナ禍におけるマスク着用や手指消毒は勿論のこと、会員自らが出来る感染防止対策を励行すると共に、家族や仲間達とも意識を共有し感染を防ぐ。
- (2) 「安全はすべてに優先する」を掲げ、事故ゼロを目指し、安全・適正就業対策推進委員会による安全パトロールの巡回指導で安全就業の遵守を徹底する。
- (3) 法令遵守を徹底し、長期就業のローテーション就業の徹底や雇用と疑わしき発注に対しては労働者派遣事業で対応する。
- (4) 会員やその家族、発注者に対し受託事業や労働者派遣事業における安全就業や適正就業の周知を徹底する。

5 労働者派遣事業の推進

- (1) 派遣元である鹿児島県シルバー人材センター連合会と連絡を密にして「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」において高齢者の多様なニーズに対応し、就業機会確保に努める。
- (2) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」において女性会員を確保して育児・介護・生活支援等の人手不足分野の就業開拓を積極的に取り込む。

6 美しく風格のあるまちづくり事業の推進

- (1) 近年、市内外から空き家の剪定や除草、草払い、墓守り（「さとふる」を含む）

などの発注が増加しており、空き家の管理や遊休地の活用、墓の管理等の企画提案の業務を継続して故郷の景観を保全するため、ホームページの活用やパンフレット送付等で事業の推進を図る。

令和4年度 努力目標数値

1 会員数	180 人
2 契約件数	2,000 件
3 契約金	60,000 千円
4 就業延べ日人員	10,000 人日
5 就業率	80 %